

企画総務委員会 送付23-23

「(仮称) 富士見1丁目計画」の陳情について

受付年月日 平成23年11月8日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

平素より区民及び地区関係者の声に耳を傾け、ご努力頂き感謝いたします。

富士見一丁目の現在のリセフランコジャポネ、三井住友銀行寮の土地に25階建てのマンション建設が計画されています。私どもは、この計画に対し意見書を周辺住民の署名（100名以上）と共に業者に提示しました。（資料として意見書、署名を添付致します）

計画地周辺には、東京都の歴史的建造物に指定されたルーテルセンター教会、高齢者の安住の地シャミナード修道院、レンガ塀に囲まれた暁星学園、複合施設の富士見みらい館等、戦争被害が少なかったため戦前より住み続ける住人の多い文教・住宅地区です。周囲を見渡しても低層、中層の建物のみで落ち着いた落ち着いた閑静な住宅地です。

「千代田区都市計画マスタープラン」においても、次のように記されており、計画地を含み周辺は中層の市街地を保持し、良好な住環境を形成するとあります。

2. 富士見一・二丁目（一部）、九段北二・三丁目（一部）、九段南二丁目（一部）

全体的には中層の住居系の複合市街地として、内濠・外濠に囲まれた落ち着いたたたずまいを守りながら、住宅と教育施設、商業・業務施設が調和・共存した、空間的なゆとりと緑に包まれた豊かな住環境を維持・創出します。

防災性の向上のため、災害時の安全性に配慮した建て替えや豊かな道路空間の創出を進めます。

第一種住居地域に指定されている地域や住宅の多い地域は、中層の市街地を保持し、積極的に良好な住環境を形成していきます。

早稲田通りや大神宮通りでは、暮らしに密着した商店の集積を進め、生活者に便利なまちとするとともに、楽しく歩ける快適な歩行空間を創出します。

教育施設は、地域のたたずまいに調和し開放性を高めるよう、機能更新を図ります。

現計画のまま地上4段地下2段の86台収容の立体駐車場（横行昇降縦列式）のある90m・25階建てマンションが建設されれば、風害、騒音、景観等、周辺の住環境を著しく悪化させることは明らかなです。

何卒、周辺住民の住環境を守るために、千代田区から業者側に計画の変更を働きかけて頂けますよう、お願い申し上げます。

平成23年11月8日

千代田区議会議員 小林やすお 殿